

湧別川水系流域治水プロジェクト（素案）

～オホーツク圏の物流・交通の要衝を堤防決壊の危険から守る治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、湧別川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の平成18年10月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。

【位置図】



平成18年10月洪水
被害家屋32戸、氾濫面積138ha



■河川における対策

国の対策内容 堤防強化対策 等

※今後、関係機関と連携し、道管理区間の河川改修を追加予定

■流域における対策のイメージ

- ・既存ダムの洪水調節機能の強化
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）等

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策のイメージ

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。